

サーフィンの楽しさを伝え サーフガールの輪を広げる

2015.9.13 (Sun) 静波海岸



静波ガールズコンテストは、今年で3回目を迎え、ポディボード26人、ロングボード43人、シヨートボード82人、計151人の参加登録がありました。大会は、年々参加者が増え、県外からの参加者も多くなってきました。静波ガールズコンテスト実行委員長の栗田早苗さんは「このコンテストをきっかけに友達になり、海と一緒にいたり会場であうのを楽しみにしていたりと、ガールズサーファーの輪が広がっていくのを実感できて、とてもうれしく思っています」と話してくれました。



1



3



2

東 京オリンピック競技種目にサーフィンが追加されるとの期待が高まる中、市では、いち早くサーフィンの合宿候補地として名乗りを上げるなど、盛り上がりを見せています。

今 年で3回目となる、女の子のためのサーフィンコンテスト「2015静波ガールズコンテスト」が9月13日、静波海岸で開催されました。

この大会は、「女性サーファーの『一人で海に行きづらい』、『大会が少ない』、『家庭に入って海に行く機会が少なくなった』などの悩みを解決しようと、2年前から静波ガールズコンテスト実行委員会が実施しています。競技種目は、ポディボード、サーフィンロングボード・シヨートボードの3種目、それぞれ初級「ドキドキクラス」、中級「ワクワククラス」、上級「ウキウキクラス」の計9クラスです。また、地元で活躍するプロ選手によるエキシビジョンマッチも行われました。

会 場は、ビーチマーケットや食べ物コーナー、話題のブランドブースが集まるなど、イベントスペースも充実。ビーチヨガなども行われ、来場者は静波の海を楽しんでいました。大会終了後には、選手や観客、スタッフ全員で海岸清掃を行い、海をきれいに片付けてから表彰式が行われました。



4



6



7



5



8



9

神奈川県平塚市からガールズコンテストに参戦した、サーフィン歴2年の菅沼田望愛さん。ロングボード「ドキドキクラス」で見事に優勝しました。菅沼田さんは「平塚の海で週2回ほど練習をしています。静波の海は環境も違い、波に慣れるまでとても難しかったけど、ボードの上でうまく歩けたのが大きなポイントだったと思います。次回は、上のクラスでガールズコンテストに挑戦したいです」と笑顔で話してくれました。



ロングボードドキドキクラス優勝 菅沼田望愛さん

1234優勝を目指して華麗なボードコントロールを披露するサーフガール5仲間に見守るサーフガール6満足のいくサーフィンができて笑顔を見せるエキシビジョン出演者7エキシビジョンに出演した静岡で活躍するプロ/トップアマの選手たち8海岸清掃をする出場選手と来場者と大会スタッフ91011各クラスで入賞を果たし笑顔を見せる出場者